道徳の教科化に関する学習会

道徳教育の"今"を考える

～公立小学校の「道徳教科書」をめぐるお話～

講師：鶴田敦子さん
（子どもと教科書全国ネット21代表委員）

つるた・あつこ　元聖心女子大学教授。子どもと教科書全国ネット代表委員。20年にわたって中学校・高等学校の家庭科教員を務めた後、山形大学・群馬大学・聖心女子大学で勤務。元日本家庭科教育学会会長（2007～10年度）。著書は、『徹底批判!!「私たちの道徳」でゆがめられる子どもたち』（2014年）、『大問題！子ども不在の新学習指導要領　学校が人間を育てる場でなくなる?!』（2016年）、『原発・放射線をとことん考える！いのちとくらしを守る15の授業レシピ』（2016年）など多数。

2018.9.29（土）14:00～16:00

日本キリスト教会 蒲田御園教会　東京都大田区西蒲田7-22-11

文部科学省は、道徳の「教科化」を小学校では今年４月から実施し、中学校では来年から始めます。明治政府は 1880年に道徳を「修身科」として教科化しましたが、今回の変更はこれに匹敵する出来事であり、さまざまな危惧が指摘されています。

人間の内面にかかわる今回の変更がどのような内容であり、またどのような問題をはらんでいるのかを学ぶ機会を持ちたいと思います。

特に小中学生の子どもたちを持つ方々には、ぜひ参加していただきたい学習会です。ふるってご参加ください。

主催：東京中会靖国神社問題特別委員会

問合せ先
☎03-3959-4052（豊島北教会）